

島根県公立小中学校
事務職員研究会

会長：鎌田陽子
(出雲市立神戸川小学校)

編集：広報部

VOL.46 2012.12.12 (時雨号)

発行責任者 安田あけみ (長久小学校)

島事研ホームページ

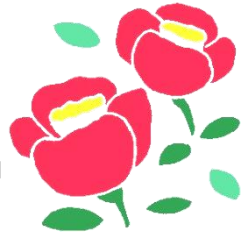
<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>

爽

SOU

【目次】

- ▶ 感謝。そしてお願いします。(副会長)
- ▶ 益田市事務グループの取組
- ▶ 県大会参加者の感想
- ▶ 「出雲教育事務所へ勤務して」
- ▶ 人権コーナー
- ▶ 事務歳時記
- ▶ 研修あれこれ
- ▶ まんが「フーちゃん」
- ▶ 編集後記



感謝。そしてお願いします。

副会長 吉賀 孝則

11月8日に出雲市において、教育関係諸機関・団体のご支援、ご協力により、第43回島根県公立小中学校事務研究大会を開催したところ、来賓の方々を含め267名のご参加をいただき盛大な研究大会となりました。島事研の中心といえる事業を無事終えることができました。研究大会を開催するにあたり、落部大会準備委員長を中心とし、準備・運営をしていただいた準備委員会並びに出雲管内の皆様、研究発表をしていただいた隠岐地区・出雲地区の方々、そして関係する全ての皆様に深く感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

2月15日には、同じく出雲市において第9回の島根県学校事務セミナーを開催する予定です。多くの方に参加していただくことを期待しております。

さて、爽(時雨号)が発行されているということは、今年度も9ヶ月が過ぎたということです。大変時期はずれかと思いますが、改めてごあいさつをさせていただきます。今期、副会長を努めることになりました、吉賀孝則(よしか たかのり)です。「なぜ?あなたが副会長?」と思われた方がいた(今も)でしょうが、ご迷惑をおかけしないように、役員一同協力し頑張っていきたいと思っております。

ところで、「立場は人をつくる」という言葉があると思います。自分自身のことで恐縮ですが、副会長という立場になってからの感想を述べさせていただきます。

一会員として島事研にお世話になっていましたが、島事研の発展・向上、世代交代への取組、県教委や教育センター、中国地区事務研・全事研といった諸機関、諸団体との渉外活動など、まだ他にもありますが、これまでにない経験をする事となり、物事をより俯瞰的に考えなければならなくなりました。この機会(副会長の立場)をポジティブに受け止め、自覚を持ち、自分自身の資質向上につなげられるように勉強していきたいと思っております。できるだけ、各市郡で開催される研究会・研修会に参加をさせていただき、会員の皆さんとのつながりを大切に、島事研に寄与できるようにしたいと思います。ご支援・ご協力をお願いします。



益田市事務グループの取組

益田市では、「『学校事務の共同実施』の研究」及び「事務グループ」・「事務リーダー」の設置を受けて、事務グループの活用、活動の在り方について市教委・事務リーダーで検討しました。そして、平成20年6月に「益田市立小中学校事務支援グループ設置要綱」が施行され、全市で事務支援の取組が開始されました。

事務支援グループは「教育に対する期待に十分応えられるよう学校事務職員が組織的に連携・支援を行うことにより、学校運営の効果・効率を高め、相互作用による能力・意欲の向上を図り、より効果的な教育活動の展開と円滑な学校事務を創造する」ことを目的とし、学校の規模や事務職員の配置状況、地域の特性等、それぞれのグループに応じた取組を計画し展開しています。

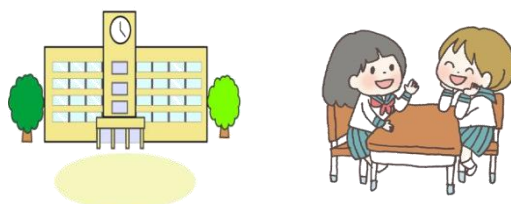
平成23年4月に「益田市立小中学校事務支援グループ推進協議会設置要綱」が施行され、第1回の協議会において活動を確認し、市教委、校長会、教頭会等と連携した事務支援の取組が進められました。

また同年、「財務部」、「情報部」、「就学部」の3業務部を組織し、事務職員の職務を確認するとともに、益田市小中学校全体に係る事務・業務についてのシステム化やマニュアル化、適正化を検討・推進しています。

▶▶ 事務支援グループ今年度活動の重点 ◀◀

事務支援グループ	学校数	事務職員数	活 動 の 重 点
東部事務支援G	4	4	各校事務処理体制整備及び事務改善、情報の共有
中部事務支援G	6	7	教育費の有効執行、目標達成に必要な情報交換
南部事務支援G	9	7	学校事務の計画的執行と確かなシステム構築、事務支援体制の充実 教職員への情報発信
西部南事務支援G	8	6	学校事務の計画的執行と確かなシステム構築、事務支援体制の充実 教職員への情報発信、教育費の効果的活用、事務の平準化
西部北事務支援G	4	4	学校事務の適正化・迅速化、情報の共有、条例改正等の共通理解

▶▶ 事務支援グループの組織図 ◀◀



益田市立小中学校事務支援グループ推進協議会

【構成】 益田市教育委員会教育長(会長)
益田市小中学校校長会長(副会長)
益田市教育委員会学校教育課長
益田市教育委員会事務局職員
益田市小中学校教頭会長
各事務支援グループの代表者他

グループ長会

事務支援
グループ
合同会

業務部
財務部
情報部
就学部

西部北 G

西部南 G

南部 G

中部 G

東部 G

業務部の活動内容 (3年を目途に活動)

【財務部】

- ・学校教育費の保護者負担軽減への取組
- ・集金口座振替について

【情報部】

- ・文書管理のシステム化
- ・備品管理システムの改善
- ・情報収集と発信

【就学部】

- ・就学援助、特別支援教育奨励費、遠距離通学補助金に関する事務改善
- ・教科書事務への関わり検討

管理職として期待するこ

益田市立都茂小学校
校長 秋好俊則

益田市では、昨年度より学力向上連携推進事業の教職員連携として、中学校では教科間連携に、そして小学校では学年間連携に取り組んでいます。小規模校が多くなった現状を見たとき、こうした学校間の連携は、教員の研修、ひいては資質向上に大きく役だつものと期待されています。

しかし考えてみれば、学校事務の支援グループはその学校間連携の先駆けとも言えるものです。益田市では西部地区での先行実施を経て、市全体で5ブロックの支援グループを立ち上げ、今年度が4年目になります。その間には、新学習指導要領の実施をはじめ、教育環境の変化、学校事務の多様化など、様々な変化がありました。こうした複雑・多

様な事務、増加する事務量へ対応するために、事務支援グループが果たしてきた役割は大きいものであると実感しています。

まず、情報交換や研修の実施により事務職員の資質や能力の向上が図られ、学校事務サービスの学校間格差が解消されつつあるように感じています。さらには、学校事務の立場から、学校経営を支援する意識も強くなってきたように思います。

また、学校の管理運営に係る事務・業務を組織的かつ集中的に処理することにより、効率的、効果的な予算執行が可能となり、小中学校の教育推進体制を強化することができるようになりました。

しかし、学校事務の支援グループには、スケールメリットを生かした予算支出の抑制や自律分権型教育行政の推進など、まだまだたくさん可能性があります。これまでの取組の成果を共通の財産としつつ、さらなる実践を積み重ねていってほしいと祈念しています。



「事務支援グループ」 設置に関わって

益田市立美濃小学校
事務リーダー 田原弘志

益田市全小中学校で事務支援グループとして活動を始めて4年目になります。益田市内には5つのグループありますが、学校規模や事務職員の配置状況等環境も違っており、それぞれに応じた取組が進められています。

設置要綱等も整備され、事務支援連絡会の定期的開催や業務部の取組等少しずつではありますが、支援活動も定着してきていると思います。

しかし、グループ間の連携や市教委他関係機関との連携の在り方、年間を通した計画的な活動、他の教職員へ理解を得るため

の発信、そして何よりも、事務職員自身の意識を高めていく等、取組を充実させるためには課題も山積しており、まだまだ発展途上です。

また、平成22年度より「事務グループ活動の充実のための加配」を受けていますが、その加配を活かし、活動充実に向けてどう取組を進めるかについても課題として残っています。

わたしも「事務グループ」、「事務リーダー」が設置されて以来、当市の「事務支援グループ」設置に関わった一人として、取組が軌道に乗らないことに対し、申し訳なく思っています。

次の人たちに繋ぐためにも、協力して活動の充実を図っていかねればと思う毎日です。



11月8日開催

島根県公立小中学校事務研究大会

ビッグハート
出雲

行政説明	県教育委員会義務教育課長 矢野英明
講演	「地域とともにある学校づくりの推進と学校事務職員」 文科省初等中等局 学校運営支援企画官 松浦晃幸 運営支援推進係長 風岡 治
研究発表	〈隠岐地区〉「目指せ！隠岐ジオパーク」 〈出雲地区〉「日常の業務から子どもたちの豊かな育ちの支援へ」

「参画」に期待しています

島根県教育研究会 会長 [松江市立美保関小学校] 三村紀中

今回の大会テーマに掲げられた「参画」と、研究発表内容について、すべて大賛成です。大雑把に言って教員は文書管理や金品管理、スケジュール管理が苦手です。学校事務を担う人が学校経営に参画してくれなければ、学校は立ち行きません。

私自身が中学生の時、職員室の机の上に広げられたままのマル秘〇〇一覧表を短期記憶容量の限り入力して級友一般に情報提供したことがあります(懺悔)。翌日、担任の先生にずいぶん叱られました。教頭先生が「見えるように放置してあったわけだから」と、擁護してくださいました。

また、小学生の時には、「残さず食べなさい。」と指導していた厳格な先生の引き出しからカビの生えたパンがごそっと出てきたことがあります。素敵な先生でしたが、あのルーズさは、子どもと接するための優れた感覚やスキルと不可分なのでしょうか。

さて、今でも、職員室の何人かの机の上には書類だけでなく集金袋も、乱雑に重ねられており、そのルーズな机の周りには業者や保護者や子どもが容易にアクセスできます。

電子機器時代となり、パソコンの中もぐちゃぐちゃです。ファイルの重要度や処理日付、内容分類の意識が低いようです。締め切り意識も薄く、前日に気づいて慌て、当日になって騒ぎ、後日には謝っています。

一方、行政は教員の意識の流れに沿わない内容、様式で事業を企画し、予算を配分する(と、教員は思っているようです)。確かに、教員は「予算」とか「起案」という感覚が薄く、行政的な仕事の進め方を理解していません。

というわけで、これからも頼りにしております。特に教員の苦手な部分のご支援とご指導をよろしくお願いします。



3年ぶりに県大会へ参加しました。今大会は発表者や司会者など、若い事務職員の活躍が目立つ大会で、とても頼もしく感じました。また、研究発表では発表者のみなさんの取組から多くの刺激を受けました。是非来年も参加したいです。
(西郷南中 早川弘美)

出雲市では、若い方々が積極的に事務作業の改善を行っておられ見習うことが多かったです。学校規模等の状況で同じことを取り入れるのは難しいですが、より良いシステムを目指す思いは一緒と感ずることができ心強かったです。
(津田小 糸賀香織)

島事研の大会を毎年楽しみにしています。今回は、文科省の方から地域とともにある学校づくりの講話を聞き、自分でもできることから少しずつやっていきたいと思いました。隠岐の研究発表では、文書処理について日付順ファイルリングという新しい方法を聞いて勉強になりました。分類別だと分類が多いので、本校でもどこのファイルにしようか考えることがあります。出雲の研究発表では、私と同じくらいに採用された方が発表されていてすごいなあと思いました。今年は転勤した年なので、来年度から自分も校内で工夫できることをやっていきたいです。
(桜江中 田村麻実)

今回、初めて研究大会に参加しました。具体的な実践方法など、すごく勉強になるお話ばかりでした。まだまだ日々の仕事をこなすことで精一杯ですが、いろいろと工夫しながら仕事をしたいと思いました。
(大津小 山本早織)

島根県の事務職員の方とご縁があり、北海道から参加させていただきました。

隠岐地区、出雲地区の発表について、両方ともプレゼンの仕方がとても上手で驚きました。隠岐地区の研究発表は、教職員のニーズの発掘から始めるという興味深い内容でした。自治体の文書管理規定との整合、学校独自の規定の制定など、今後の課題はありますが、例えば区域内の小中で共通する文書は誰かがデータ入力し、学校間でデータ共有して受付簿として完成させるとか、次のステップへと進んでいけると感じます。出雲地区の研究発表では、地域学校運営理事会の整備と権限委譲が進んできていること、会計ソフトの活用、学校徴収金の一括管理、徴収金取扱規定の共有化など、先進的な事例をお伺い出来ました。若手の事務職員の方が積極的に発表されたことも、心から素晴らしいと感激いたしました。率直に貴研究会の未来は希望の光であふれていると感じました。

この度は参加させていただきました。誠にありがとうございました。
(北海道 七飯町立大沼小学校 鈴蘭谷分校 奥山光明)

出雲教育事務所へ勤務して

出雲教育事務所
加藤 淳也



今年度の4月から、出雲教育事務所で勤務することになりました。

ここでは、学校から提出された書類を確認するという、これまでとは違った視点で仕事をしています。すべての事務処理には法的根拠が存在し、それに基づいた処理が必要であるということを改めて実感させられました。

また、教育事務所が学校に対してどのような支援ができるかということの検討もしており、その一つとして、出雲教育事務所では昨年度から、学校事務職員を対象とした研修会が年6回開催されています。法令（通知）等の解釈や、実際の事例を基にした実務研修等、基本的なことではありますが、学校事務職員がそれぞれの事務処理について、迷うことが少なくなるための内容となるよう考えられています。

事務所での仕事はさまざまありますが、現場から来た事務職員として、教育事務所（県）と学校をつなぐ役割もその一つだと考えています。定型的な業務についてはできる限り簡潔に処理し、その他の業務に係る時間を充実していくことができるよう、その方策をみなさんと一緒になって考えていければと思います。

ここで勤務して、自分が思っていた以上に、学校に対する支援体制ができていているということを感じました。それぞれの立場でできることを、知恵を出しあい協力していくことで、良い教育環境を作りあげていくことができると思います。そのために自分がここにいてこそできることを少しずつ進めていければと考えています。

人権 コーナー

「おかげさまだよ」

出雲市立灘分小学校 平井 悠子

「おかげさまだよ」今は亡き大祖父が生前よく口にしていた言葉である。

若い時分に上京し、商売で酸いも甘いも経験しながら成功を収めた大祖父は、親戚が上京すると手厚くもてなし、出雲に帰省してはたくさんのお土産といろんな話を聞かせてくれる、とても気さくな人であった。ひとつひとつの細かいエピソードは覚えていなくても、最後にしみじみと口にする「おかげさまだよ」のフレーズだけは強烈に印象に残っており、私の家族が大祖父を語るうえで欠かせないキーワードとなっている。苦勞をした大祖父であったが、今の自分があるのはお世話になったすべての人や試練を与えてくれた人たちのおかげだと、常に感謝の気持ちを抱いていた。

翻って自分はどうであろうか。高慢に生きてはいないだろうか。今の環境が当たり前だと思っていないだろうか。今の仕事につきお給料をいただいていること、歩くことができること、家族がいること、食べるものがあること、良き職場の仲間、友人がいること・・・何かをしてもらって抱く感謝の気持ちはもちろん、当たり前と思いがちなことにも感謝の気持ちを持ちたい。生きていればいろいろなことがあると思うが、「おかげさまだよ」の気持ちをもっていれば、人のことを思いやることができるし、なにより自分自身の人生も豊かになるだろう。

とはいえ、腹をたてたり、浮かれて周りがみえなくなることもしばしばある私。時々この「おかげさまだよ」の言葉を思い出して自分自身を戒めることにしよう。



事務歳時記

久屋小学校
森山 訓

夏休み 早寝早起き 朝ごはん

長い休みの間を健康で安全に過ごすために、夏休みといえども、「早寝早起き朝ごはん」は当り前である。学校の授業がないこの休みは、つい不規則な生活になりがちである。もうすぐ二学期、研究・読書感想文はすんだのであるうか。

運動会 孫の出番を見て帰る

ほとんどの学校では、秋に校内運動会が開催される。地域の象徴である小学校では、親はもちろんのこと、おじいちゃんおばあちゃんまでが応援にやってくる。小規模校では親まで参加しないと競技にならないこともある。

報告も 電子媒体 秋深し

アナログ世代の私たちには、ついていけない世の中になってきた。様式はダウンロードせよ、報告はメールで送ってください。申込みはWebでお願いします。このメールというものが恐ろしい。本当に相手に届いたのだろうか。

菊の香や 音と心のハーモニー

第三十回島根県音楽教育研究大会が大田市で開催された。授業公開の学校は、それぞれの研究成果を発表する。「天使の歌声プロジェクト」を立ち上げた学校では、音と心のハーモニーが、本当に天使の歌声のようである。



研修あれこれ

— 新任主任主事研修 —

開催期日：8月20～21日 [2日]

受講者：平成22年度～24年度に主任主事に昇任した事務職員



「新任主任主事研修に参加して」

出雲市立多伎中学校 梶谷 匡志

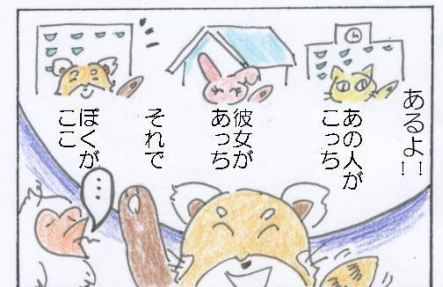
2日間の研修でしたが、私が特に印象に残ったのは、2日目の島根大学の熊丸先生による「問題解決の向上」の講義・演習でした。その講義の中で、学校が抱える問題の解決策を発見するためには、「なぜ？」を繰り返すということを教わりました。実際にグループに分かれて演習を行いました。与えられた課題は「教職員間の人間関係の向上」でした。この課題について、「なぜ？」を繰り返すのです。教職員間の人間関係が良くないのはなぜか？、それは「教職員間のコミュニケーションが不足しているから」。ではなぜコミュニケーションが不足しているのか？、それは「教職員が多忙であるから」。ではなぜ教職員は多忙であるのか？……というように「なぜ」を繰り返していくのです。このように「なぜ」を繰り返していくことにより、問題の原因を発見します。そして、発見した原因について、解決策を考える。この講義・演習を通して、問題解決では、「なぜ」を考えることが重要な位置を占めるということを学びました。

【編集後記】 辞典を編纂する編集者たちの情熱を描いた本、「船を編む」(三浦しをん 著)を読みました。国語辞典なんてどれも同じと思っていましたが、どのように言葉の意味を説明すべきなのか、編集者たちが頭を悩ませながらつくっているのだということがわかる、楽しい本でした。編集にかかる月日は辞典に遠く及びませんが、「爽」をつかっていく過程や思いは同じだと思いつつ読みました。改めて、広報誌をとおして島事研の活動を皆さんにわかりやすく伝えていきたい、と思いました。(M. T)



Vol.23 おたん

Nice to meet you!!



原作：千葉ひろみ 画：大橋幸子